

豊かな森林づくり 植樹祭に参加

自然を守ろう、新たな森林づくり植樹祭に参加

登米市では環境保全の一環として、毎年植樹祭を開催しています。森林は「きれいな水を創り出したり、水を貯めたりする」大切な役割をしています。

この森林を守り育て未来に引き継ぐため、水道事業所では11月4日（火）に開催された植樹祭に参加しました。

◆緑をいつまでも！「米川小学校の生徒と市民による植樹活動」◆

当日は秋晴れのすがすがしい天候の中、米川小学校の生徒や市民など大勢の人が参加し、米川生産森林組合員から植樹作業の注意点などの説明を受けた後、それぞれ心を込めてヤマザクラの植樹やドングリを植え、植樹活動に汗を流しました。



当日は米川小学校の生徒や市民など多くの人が参加しました。



元気に芽がでるようにお話しを聞いた後、心を込めてドングリをまきました。



大きな森になるように願いを込めて、市長とともに記念植樹を行いました。



急な斜面に気を付けながら、まっすぐ倒れないように苗木を植えました。

◆水道水はおいしい！◆

当日は作業後の水分補給のため現地に給水車を配置しました。水を飲んだ児童からは「植樹をしてのどが乾いたからいつもよりおいしい」「普段飲んでいるよりおいしく感じるね」などを感想がよせられました。



給水車につながれた蛇口をひねって水分補給！



暖かい日差しの中、植樹をがんばったので喉がカラカラ、「おいしいね」。

◇参加した皆さんと記念撮影◇

